



府中小学校だより



伊賀市立府中小学校
2026年7月17日
NO.8
校長:堀川 実和子

ぜんこうしゅうかい ねんせい ねんせい たいいくいいんかい はっぴょう 全校集会 (1年生、6年生、体育委員会の発表)

7月8日(水)、全校集会を行いました。今回の集会は、1年生と6年生の学年発表と、体育委員会からの委員会発表がありました。

1年生は、4月から「みんなでえがおになるために」を考えてきたことと、みんなで作った歌『みんなでえがおになるために』を発表しました。みんなで声をかけ合い、協力し合いながら発表している姿が微笑ましかったです。6年生は先月行った「修学旅行で学んだこと」を発表しました。自分たちが学んできたことの中から、「このことを全校のみんなに伝えたい」と思うことを考え、さらに「どのように伝えると、より自分たちの思いが伝わるか」を考えて練習し、当日にのぞみました。最後に歌った『Smile Again (スマイル アゲイン)』の歌声に1~5年生から「やっぱり6年生はすごい。」「かっこよかった。」と感想がでていました。体育委員会からは学校の中のルールや約束事を確かめるクイズがありました。どの発表にも、さまざまな学年からたくさんの感想が出ました。



で あ がくしゅう いなもり ぎゅうしゃけんがく 出会い学習 ~稲森さんと牛舎見学~

7月2日(木)、2年生は校区にお住まいの稲森宣裕さんが育てている伊賀牛とその牛舎を見学し、稲森さんから日々のお仕事についてお話を聞かせていただきました。子どもたちは、お聞きしたことや、牛の大きさや迫力など間近で見て感じたこと、牛に触れた感触、におい、鳴き声など五感をたくさん使いながら、知ったことや気づいたことをたくさんカードに書いて帰ってきました。



出会い学習 ～川口素生さん～ 3年生、6年生

本校では、度々川口素生さんにお越しいただき、お話を聞かせていただいています。今年度もこれまでに6年生と3年生が話を聞きました。府中小学校では、自分たちのクラスや学校が「だれにとっても居心地のいい場所にしたい」という気持ちから、折に触れて「どうすればそんなクラスや学校にしていけるのか」を考えています。そして、「伊賀市がだれにとっても居心地のいい場所になるように」と願い、お仕事をされている川口さんから、そのヒントや気づきをもらうためにお話を聞いています。話を聞いた学年の子どもたちから「また川口さんの話、聞きたい」「また川口さんに会いたい」との声があがるので、ほぼ毎年のように来ていただいています。今年度、10月30日の授業参観後の人権講演会では、川口素生さんにお話を聞かせていただきます。川口さんが、子どもたちにどんな話をされているのか、子どもたちがどのような人権学習をしているのかお聞きいただけるかと思ひます。ぜひ、たくさんの方のご参加をいただきたいと思います。

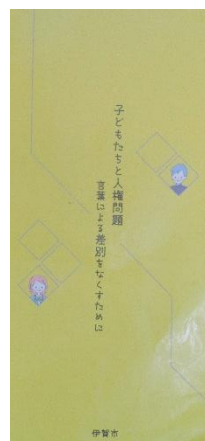


リーフレット：子どもたちと人権問題～言葉による差別をなくすために～

伊賀市広報の7月号に、川口さんが所属されている伊賀市人権政策課からのメッセージが載っていました。人権政策課は、差別につながる言葉を使用しない、使用させないということを目的に今年「子どもたちと人権問題～言葉による差別をなくすために～」というテーマで『人権啓発リーフレット』を作成していただきました。

市内の保育所（園）や小中学校、学童保育などで、子どもから差別につながる発言が出ています。昨年は、大人から子どもに対する差別発言や、園児によるヘイトスピーチも出ていました。また、市内の小中学校でも、障がい者差別や、外国人差別など、50件近くの差別事象が報告されました。その後の聞き取りの中で、子どもは家族など周囲にいる大人が使っている言葉を聞いて、その言葉が相手を傷つける言葉だと分かっているが使用していたり、その言葉に含まれる差別性を理解しないまま、友達とのトラブルの中で使っているということが明らかになっています。広報の結びには、

「子どもたちは学校で人権学習を積み重ねています。私たち大人も、子どもが言葉による差別で大切な友だちを傷つけてしまわないように、何気なく使っている言葉の重みや、言葉に含まれる差別性について、学ばなければならないのはではないでしょうか。」と書かれていました。府中小学校では、人権講演会の日にこのリーフレットをお渡しする予定です。



<人権ポスターづくりに
取り組む子どもたち>

